

佐渡島出身の高等工科学校生徒2名、 故郷へ帰島し母校訪問



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）佐渡駐在員事務所（所長 准空尉 渡部道晴）は、8月3日（月）、高等工科学校生徒による母校訪問を同行支援しました。

この母校訪問は、今年度高等工科学校生徒として入校した橋本侑来生徒、石塚 凌生徒が、それぞれの母校を訪問し、挨拶と入隊後の近況報告を行ったものです。生徒2名は、佐渡島から10年ぶりに高等工科学校に入校しており、久しぶりの帰島に笑顔を輝かせていました。

当日は、佐渡駐在員事務所広報官が同行し、橋本生徒の佐渡市立真野中学校と、石塚生徒の佐渡市立相川中学校へ母校訪問を行いました。担当教諭や、部活動顧問教諭へ挨拶すると、「数か月で見違えたようだ。言葉遣いや立ち振舞いに、礼儀正しさが身についている」と歓迎を受けていました。

石塚生徒は、「先生からは、所属していた駅伝部の練習にも参加して、後輩に高等工科学校の話聞かせてほしいとお願いされました。帰省期間を利用して一緒に汗を流したいと思います」と話した。

新潟地本は、今後も入校・入隊者の心情把握等のアフターケアを行い、長期休暇を活用した母校訪問により、その成長した姿を通して、自衛隊への理解の向上を図っていきます。